

AB

communication

64

オートバックスセブン 第72期 第1四半期 株主通信

2018年4月1日から2018年6月30日まで



**AUTOBACS
SEVEN**



わたしの好きな道:

絶景の紅葉スポット「いろは坂」

E 光市街と中禅寺湖を結ぶヘアピンカーブ「いろは坂」は、紅葉スポットとして全国的にも有名なドライブコースです。「日本の道百選」にも選定されています。その名の通り、上りと下りを合わせ48カ所あるジグザグ状の急カーブに、「い」「ろ」「は」…の標識が置かれています。標高の温度差により紅葉の色合いが異なり、「明智平展望台」から眼下に広がる大パノラマはまさに圧巻です！

近隣店舗
オートバックス
鹿沼店



ACCESS

栃木県日光市細尾～宮司
東北自動車道→宇都宮IC→日光宇都宮道路→
清滝IC下車15分

厳しい事業環境の中、
通期計画の達成に向けて
着実に施策を推進してまいります。

代表取締役 社長執行役員 小林 喜夫巳



2019年3月期 第1四半期の連結業績

当社グループは2020年3月期を最終年度とする「2017中期経営計画」に沿って、「国内オートバックス事業の再生」と「将来に向けた成長ドライバーの育成」を軸に、収益の拡大と資産効率の向上のための施策に注力しています。

当第1四半期は、国内市場においてタイヤ販売に注力するとともに、前期に続き接客状況の分析を踏まえてオペレーション改善を進め、売場やピットなどハード面のリノベーションに取り組みました。一方で、プライベートブランド「AQ.」やカーライフをより豊かにする「JKM」「GORDON MILLER」のラインアップを増やし、商品の魅力向上を図りました。また、タイへの出店増など海外事業の基盤強化にも注力しました。

しかしながら、国内における新車販売台数および中古車登録台数がそれぞれ前年実績を下回り、自動車関連用品の需要も低調に推移したことから、連結売上高は前年同期比2.2%減少、売上総利益は同5.2%減少となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比3.7%減少しましたが、営業利益は同47.3%減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は営業外費用の減少により、前年同期比19.7%の増加となりました。第1四半期の収益は前年同期比で減少いたしました。通期の計画に向けておおむね計画線であったと考えております。

セグメント別の営業概況

国内オートバックス事業

売上高 **407億97**百万円 前年同期比 **4.3%**減
セグメント利益 **23億31**百万円 前年同期比 **1.9%**増

国内オートバックスチェーン全業態の売上高は、前年同期比で既存店2.7%の減少、全店2.5%の減少となりました。タイヤにおいてプライベートブランド商品や低価格帯商品の品ぞろえを強化し、TVCMを含む販促活動を行いました。しかし、夏タイヤへの履き替えが前倒しとなっていたことや昨年の値上げに伴う駆け込み需要の反動により、タイヤの売上は伸び悩みました。カーエレクトロニクスは安全に対する意識の高まりを受けてドライブレコーダーの品ぞろえを強化した結果、単価・台数とも好調に推移しました。車検実施台数は、対象台数が少なかったこともあり、前年同期比9.4%減少の約14万台となりました。車買取・販売では、販促活動に加え車買取専門店の店舗数が増加したことなどにより、総販売台数が同1.7%増加の約6,800台となりました。

これらに加えて、前期に店舗子会社を譲渡した影響等により、国内オートバックス事業の売上高は減少しましたが、前期に低下させていた当社からの店舗の仕入原価率を通常に戻したことや物流システム費用の減少などにより、セグメント利益は増加しました。

海外事業

売上高 **25億58**百万円 前年同期比 **20.3%**増
セグメント利益 **-2億12**百万円 前期は**-1億51**百万円

小売・サービス事業は、タイにおいて、PTGグループのガソリンスタンドモールへの出店を積極的に行いました。フランスでは、2店舗を直営化しましたが、洪水などの影響により営業損失が拡大しました。シンガポールでは、カーシェアリング車両に対するメンテナンスサービスが増加しました。卸売事業は、中国において事業拡大に向けた経費増等により減益となりましたが、ロシア向けオイル販売やアセアン地域のホームセンターなどへの売上は増加しました。

ディーラー・BtoB・ネット事業

売上高 **75億37**百万円 前年同期比 **7.1%**増
セグメント利益 **-4億67**百万円 前期は**-1億61**百万円

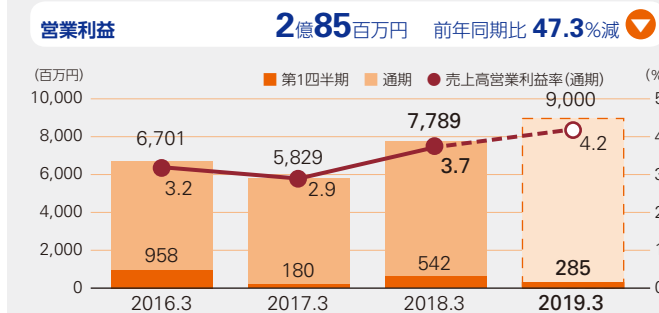
輸入車ディーラー事業は、前期の拠点増加に伴い、売上・利益ともに増加しました。BtoB事業も、新商品開発と販売先拡大により売上が増加しましたが、引き続きオイルの原価と物流コストの高騰が影響し、利益は減少しました。ネット事業は、品ぞろえ、チャンネル、プロモーションなどの再構築に取り組んでおり、効率化を進めました。

その他の事業

その他の事業における売上高は5億48百万円(前年同期比8.5%減)、セグメント利益は1億7百万円(前年同期比24.0%減)となりました。これは主に保険に関わる手数料収入の減少によるものです。

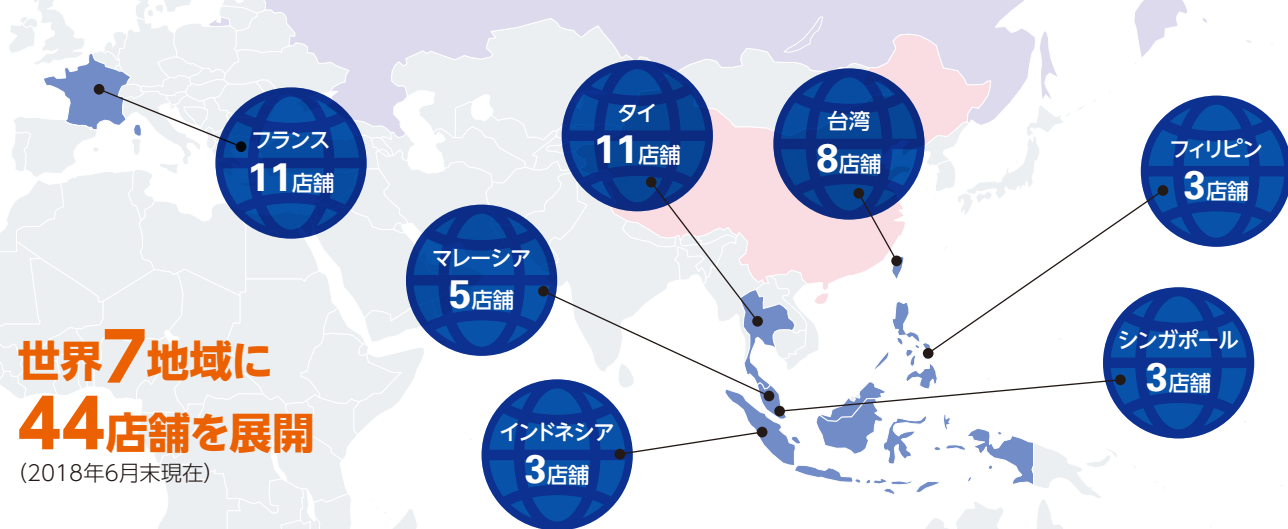
報告セグメントの変更について

2019年3月期より、報告セグメントとしては、各事業の性質と規模を考慮し、「国内オートバックス事業」「海外事業」「ディーラー・BtoB・ネット事業」に変更しました。また、営業外収益および販売費及び一般管理費で表示していたクレジット事業等の収益および費用は、売上高および売上原価に含めて表示することとし、従来、「その他」として表示していた事業区分に含め、新たに「その他の事業」として報告セグメントに追加しました。なお、右上のグラフにおける2016年3月期および2017年3月期の数値は、この変更を反映したものではありません。



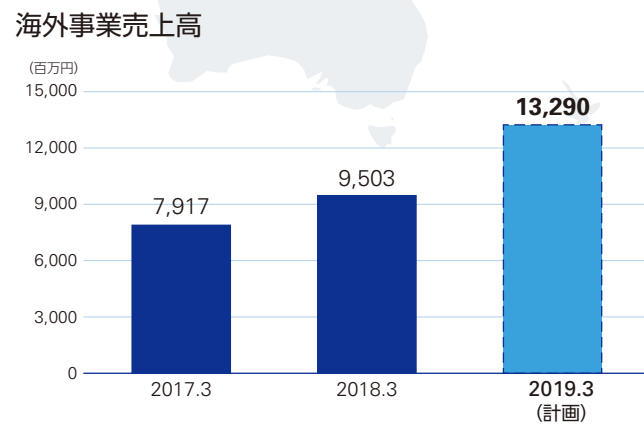
ASEAN市場を中心に、「小売・サービス事業」「卸売事業」の拡大を目指す。

当社グループは、経済成長を続けるASEAN市場を中心に、現地の有力企業との資本・業務提携や合併会社による運営を通じてオートバックスブランドを浸透させ、「小売・サービス事業」「卸売事業」の拡大を目指しています。



オートバックスブランドの着実な浸透により事業を拡大

海外では1995年にシンガポールに出店して以降、各地域のクルマ文化の状況を踏まえて事業を展開し、当第1四半期末現在、44店舗を運営しています。加えて、シンガポールにおけるカーシェアリングの車両に対するメンテナンスサービスなど、地域のニーズに応じて新規ビジネスにも取り組んでいます。また、オートバックスブランドへの信頼感が海外市場に浸透していく中で、店舗運営にとどまらず、自社開発商品の卸売事業の強化を通じ、ロシアなど新たな地域への展開を進めています。



タイでの店舗展開を加速

2019年3月期は、経済成長に伴い自動車の普及が進んでいるタイで出店と認知度の拡大に努めています。タイでは2000年に初出店した後、2006年に現地消費財大手のサハグループなどと合併で子会社SIAM AUTOBACSを設立し、事業を拡大しています。2017年にはタイ国内2位のガソリンスタンドチェーンであるPTGグループと資本・業務提携しました。これを機に、同グループが運営するコンビニなどを併設した複合型ガソリンスタンドの敷地内において、小規模小商圏型店舗の出店を積極化しています。

一方で2018年7月には、バンコクスワンナプーム国際空港の南にあるバンナー地区に「オートバックスバンナーKm12店」をオープンしました。バンコク中心部からのアクセスが良く、大規模ショッピングモール入口付近の主要幹線道路沿いに位置しており、既存店舗と共にタイにおけるオートバックスブランドの認知度向上に努めてまいります。

タイの自動車保有台数*

828

万台



オートバックス パタナカン店



オートバックス サムットプラカーン 4店



オートバックス バンナー Km12店

※ 一般社団法人日本自動車工業会 世界各国の四輪車保有台数(2016年末の乗用車)

自社開発商品などで卸売事業を強化

当社グループは、海外での売上拡大と原価低減を目指し、ロシアおよびASEANにおいて自社開発商品を中心に卸売を開始しました。また、中国においても、カー用品の販売・サービスのプラットフォームの運営と良質な車載用芳香剤の製造・販売を行う現地企業「愛車小屋」に出資し、卸売事業の拡大を目指しています。当第1四半期は、オートバックスブランドへの評価の高まりを背景に、ロシア向けエンジンオイルの販売が拡大しています。また、ASEAN地域では現地ホームセンターなどへの売上が増加しており、今秋以降はワイパー、ブレーキパッド、ドライブレコーダー、オイルフィルターなどの販売を開始する予定です。



Q スタッドレスタイヤとオールシーズンタイヤ、どちらを選んだらいいの？



A オールシーズンタイヤなら急な降雪でも安心。
ただし、凍結路面にはスタッドレスタイヤ！

オールシーズンタイヤは、言わば「雪道も走れる夏タイヤ」です。乾いた路面や濡れた路面では夏タイヤと同様のグリップ性能や耐摩耗性能を発揮しつつ、圧雪やシャーベットの路面も走行可能とあって、1年を通して使用することができます。日本では、まだ馴染みの薄いオールシーズンタイヤですが、欧州や北米では新車に標準装備されるほど普及しています。降雪時とはいえ、普段は街乗りでタイヤ交換が面倒、タイヤの保管場所に困る、そういった方には非常に魅力的なタイヤと言えます。

ただし、凍結路面での性能は、スタッドレスタイヤの方が格段に優れています。低温でも硬くなりにくいゴム素材を使用し、細かく深い溝が氷に食い込みやすくなっているからです。日本のスタッドレスタイヤは日本の冬季の路面を熟知したタイヤメーカーが研究してきたものですので、日常的に凍った路面や深い雪道を走る地域では、安全を重視してスタッドレスタイヤの使用もしくはチェーンとの併用をおすすめします。オートバックスの店頭ではスタッドレスタイヤはもちろん、オールシーズンタイヤの品ぞろえも増やしていますので、ぜひご相談ください。

私がお答えします！

カーライフアドバイザー
スーパーオートバックス
かしわ沼南
渡辺 慎司



各種タイヤの一般的な路面適合イメージ^{※1}

	路面状態	夏タイヤ	オールシーズンタイヤ	スタッドレスタイヤ(冬タイヤ)
通常路面	ドライ	◎	○	△
	ウェット	◎	○	△
	シャーベット	×	○	◎
積雪路面	圧雪	×	○	◎
	凍結	×	×	○
	高速道路冬用タイヤ規制 ^{※2}	チェーン装着	通行可	通行可
	全車チェーン規制	チェーン装着	チェーン装着	チェーン装着

※1 タイヤによって性能が異なりますので、詳細はメーカーのカタログ等をご参照ください。

※2 乾燥路面と同様の性能を保証するものではありません。速度等、雪道での運転には注意が必要です。

オートバックスグループ専売
マキシス
[MAXXIS ALL SEASON AP2]

世界160カ国以上で販売されている台湾の代表的なタイヤブランド「MAXXIS」のオールシーズンタイヤ。お求めやすい価格ながら、突然の雪にも雨にも適応。



※一部店舗では取り扱いのない場合がございます。

オートバックスグループ先行発売
クロスクライマート
[MICHELIN CROSSCLIMATE series]

ミシュランタイヤの夏用スタンダードタイヤ「エナジーセーバー+」よりも耐摩耗性能を向上させ、満を持して日本へ導入した欧州で人気のオールシーズンタイヤ。



※一部店舗では取り扱いのない場合がございます。

オートバックスグループ専売
アイス エスポルテ
[アイス エスポルテ]

「価格と性能のバランスがとれたスタッドレスタイヤ」をコンセプトに開発。当社専売タイヤ初の発泡ゴムの採用によって、すべりの原因となる「水膜」を効果的に除去し、冰雪性能と長持ち性能を両立。



当株主通信の表紙について



Vol.63からお気付きの方もいらっしゃると思いますが、株主様から寄せられた「全国のドライブ名所を教えてください」とのご要望にお応えし、今期からおすすめのスポットをご紹介します。

Topics

2年連続で
タイヤ販売店No.1
を獲得!

(株)日本能率協会総合研究所(JMAR)が実施する「タイヤに関する調査(2018年)」において、オートバックスが2年連続でタイヤ購入先として選ばれた販売店No.1となりました。



抽選で10名様にプレゼント

ARTA スマートワンタッチボトル 350ml thermo mug 2018

レーシングスポーツブランドへ進化したARTAから、
保温、保冷に優れたシンプルでスタイリッシュなワンタッチマグを10名様にプレゼント。



①はがきでご応募

応募方法

下記①～⑤を明記の上、下記宛先までご送付ください。

なお、当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

①氏名 ②郵便番号/住所 ③電話番号 ④年齢

⑤今後のオートバックス店舗に期待したいこと

(ご応募いただいた方の個人情報は本プレゼント企画の連絡以外の目的で使用することはございません)

宛先

〒135-8717

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲チャンネルフロント

オートバックスセブン IR・広報部

「オートバックス通信vol.64 プレゼント」係

②WEBでご応募

▼下記よりアクセスしてください。

https://www.autobacs.co.jp/ja/ir/biz_report.php



オートバックス 株主通信

検索



①「株主通信」のページで
「応募フォーム」のボタンを
クリック



②必要事項を記入の上送信

応募締め切り: 2018年10月15日(月) (はがきの場合は当日消印有効)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 なお臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告の方法	当社ホームページに掲載する。 (電子公告) https://www.autobacs.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

(ご注意) 1. 株主様の住所変更、単元未満株の買取・買増し請求等につきましては、証券会社の口座をご利用の株主様は、お取引の証券会社へご連絡ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の株主名簿管理人までご連絡ください。
2. 未払配当金の支払いにつきましては、上記の株主名簿管理人にお問い合わせください。

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.
株式会社オートバックスセブン
〒135-8717 東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲チャンネルフロント

IR情報に関するお問い合わせ先
IR・広報部
電話: 03-6219-8718
E-mail: investors@autobacs.com


植物油インキを使用
して印刷しています。


P - 00034

この印刷物は、CSRに取り組み
印刷会社が製作した印刷物です。